

# 千葉市における大学との連携に関する基本方向について

## I 市と大学相互の資源活用に向けて

### 1 市の施策遂行のための大学との連携〔協定書第2条第2号・第3号関係〕

市の施策遂行に当たり、市政の課題解決・地域福祉向上のため、大学の資源を活用していきます。

#### 大学資源の活用

大学の資源には、大学の教員・学生という知的・人的資源、大学施設という物的資源があり、それぞれの特性に応じた連携を図っていきます。

特に、「科学の都：千葉市」の確立に向けては、産学官連携を進める中で、大学資源を十分に活用していきます。

#### 《連携事例》

例：附属機関への委員就任、小中学校へ学生を学習支援員として派遣など

#### 市政課題研究

市内大学は、地域に根差した知的資源の拠点であることから、千葉市の抱える地域課題の解決に向けて、連携して調査・研究していきます。

#### 《連携事例》

例：千葉市・大学共同研究事業など

#### 市職員育成

市職員の育成に当たり、大学の知的資源を活用するとともに、大学の教官と市職員との交流を深めていきます。

#### 《連携事例》

例：職員研修の講師、大学公開講座など

### 2 地域社会の振興のための大学と市の連携〔協定書第2条第1号・第3号関係〕

大学が自らの資源を地域に還元するに当たり、それが円滑に進み、地域と大学の結びつきがより良い方向に進むよう支援していきます。

## 地域住民に対する事業

大学が自らの知的資源を、地域の様々な課題解決や活性化のために活用するに当たり、市は情報提供等を通じて円滑に事業が進むよう支援します。

また、学生に対して、市民生活を送る上で必要な情報の提供や、様々な施策の啓発活動を行っていくとともに、地域活動の担い手として活躍できるよう積極的に支援し、地域に関われた大学づくりに協力していきます。

### 〈連携事例〉

例：千葉市民文化大学事業、千葉アートネットワークプロジェクトなど

## 企業・商店街に対する事業

地域経済活性化に向けて、大学の知的資源を社会に還元するにあたり、産学の連携が円滑に進むよう支援していきます。

また、起業支援や産学連携に当たって、卒業生等の人材やネットワークが活かされるようにしていきます。

### 〈連携事例〉

例：産学共同研究促進事業、大学連携型起業家育成施設支援事業など

### 3 大学の教育活動のための市の連携〔協定書第2条第3号関係〕

次代を担う若者の育成に当たり、市が職場体験の場を提供するなどの連携を行っていきます。

### 〈連携事例〉

例：千葉市インターンシップ事業、専門職員（保健師・看護師等）実習など

## Ⅱ 連携の継続・発展に向けて

### 1 包括協定の締結

- ◎大学と市が包括協定を結ぶことにより、大学における地域貢献活動や市の施策遂行などにおいて、緊密な連携を継続・発展させていきます。
- ◎包括協定を結ぶことにより、大学と市の双方で、連携事業を行うにあたっての意思決定の迅速化を図ります。

### 2 情報の共有

- ◎連携窓口を置き、連携の事例をまとめて、順次公表していきます。
- ◎連携事例の紹介を通じて、大学と市相互の人的交流の活性化を図るとともに、大学と地域の連携の拡充につなげていきます。